

平成30年度 一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会総会  
第15回 埼玉県言語聴覚士会学術集会

# 教えることで教わる 育てることで育つ

会 期 : 2018年 5月 27日 (日)

会 場 : クレア鴻巣

大会長 : 小野田 恵 (栗橋ナーシングホーム翔裕園)

基調講演 : 内山 量史 先生 日本言語聴覚士協会 副会長  
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

シンポジウム : 「臨床実習の今とこれから」

## 演題発表者募集

<演題発表問い合わせ>

- ・以下E-mailに氏名、所属先、発表領域(成人・小児)をご連絡ください。
- ・締め切り : 2017年 12月 1日(金) **12月 15日(金)まで延長しました**

E-mail : [st@reha-ama.jp](mailto:st@reha-ama.jp)

[TEL:048-977-3979](tel:048-977-3979)

(リハビリテーション天草病院 : 東)

埼玉県言語聴覚士会 会員の皆様

一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会

平成 30 年度総会・第 15 回学術集会 大会長 小野田 恵

## 「埼玉県言語聴覚士会 平成 30 年度総会・第 15 回学術集会」ご案内 第二報

暮秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、以前にもお知らせさせていただきましたが「埼玉県言語聴覚士会 平成 30 年度総会・第 15 回学術集会」を下記日程にて開催いたします。

次年度の学術集会では「教えることで教わり 育てることで育つ」、私たち言語聴覚士の役割の一つである「後輩育成」をテーマに選びました。その中でも今回は「臨床実習」について考えを深めていきたいと考えています。今回このテーマにしたのも、実習生指導に皆試行錯誤しながら悩んでいる、現在の臨床実習が変化をしているらしいなどの意見を聞き、興味深いテーマなのではと考えたからです。

当日は基調講演に日本言語聴覚士会副会長の内山量史先生をお迎えし、ST 領域の臨床実習の現状及び今後の展望についてお話いただき、シンポジウムでは、臨床実習を送る側の先生である国立障害者リハビリテーションセンター学院の小野久里子先生と目白大学の内山千鶴子先生のお二方と臨床実習を受ける側の先生である埼玉みさと総合リハビリテーション病院の相馬悠里先生と中川の郷療育センターの伴佳子先生のお二方にご登壇いただき「臨床実習の今とこれから」というテーマで、議論を交わし、理解を深めていきたいと考えております。

是非、職場の方とお誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

尚、例年同様演題についても以下の通り募集いたします（締め切り延長しております！）

「教育」といった内容に限らず、たくさんのご応募をお待ちしております。

### 記

名 称 : 一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会 平成 30 年度総会・第 15 回学術集会

日 時 : 平成 30 年 5 月 27 日 (日)

会 場 : クレア鴻巣

大会テーマ: 「教えることで教わり 育てることで育つ」

大 会 長 : 小野田 恵 (栗橋ナーシングホーム翔裕園)

基 調 講 演 : 内山 量史 先生 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

シンポジウム: 「臨床実習の今とこれから」

**演題募集: 平成 29 年 12 月 1 日 (金) ~~—~~ 12 月 15 日 (金) まで延長しました**

- ・ 以下 E-mail に氏名、所属先、発表領域 (成人・小児・その他) をご連絡ください。
- ・ 抄録締切は演題登録採択後、個別にご連絡いたします。

E-mail : st@reha-ama.jp TEL : 048-977-3979 演題発表担当 : 東 (リハビリテーション天草病院)

問い合わせ: 平成 30 年度総会・第 15 回学術集会 実行委員長

唐澤健太 (リハビリテーション天草病院)

山口勇主 (埼玉療育園)

リハビリテーション天草病院 E-mail : st@reha-ama.jp TEL : 048-977-3979